

乳腺の手術を受けられる患者さんへ (手術当日入院)

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

担当看護師

月日	/	/	/	/	/	
経過	手術前日	入院日 手術前	入院日 手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目 退院日
目標	手術を受ける準備ができる。		創部に問題がない。 ドレーンの排液に問題がない。 安静を守ることができる。	歩行ができる。		退院後の生活の注意点を理解している。
処置		手術側の耳に印をつけます。 病衣に着替え、弾性ストッキングを履きます。 眼鏡や入れ歯、貴金属等ははずします。 看護師と一緒に手術室に行きます。	手術部に排液管が入ってくることがあります。 適宜、血圧・脈拍・体温など測定します。 酸素吸入をします。 心電図モニターを装着します。	回診があります。 酸素吸入を終了します。 心電図モニターをはずします。	創部の保護テープを取り外します。 	排液管は、排液量に応じて抜く場合があります。 ★退院までに創部の状態を看護師と一緒に確認してみましょう。
点滴		手術室で点滴を行います。		食事がとれれば点滴を終了します。		
お薬		指示されたお薬だけ朝7時までに内服します。 お薬とお薬手帳を持参して看護師に渡してください。		普段飲んでいるお薬を再開します。 血液をサラサラにする抗凝固薬系は、医師の指示のもと再開する日をお伝えします。		
検査	センチネルリンパ節生検を行う場合、お昼前に注射をした後に検査を行います。			レントゲン	採血 	
食事	0時以降は食事はできません。水やお茶(砂糖やミルクが入っていないもの)の制限はありません。	食事はとれません。指定された時間まで水またはお茶がとれます。 <input type="checkbox"/> 午前手術→朝7時まで <input type="checkbox"/> 午後手術→朝11時まで	何も食べることはできません。麻酔から覚めたことを看護師が確認してから、うがいや水分がとれるようになります。	朝から食事が開始になります。 		
安静度	制限はありません。		ベッド上で安静に過ごし、起き上がることはできません。寝返りは可能です。手術を受けた側の腕は安静に保ってください。	術後の経過が問題なければ、歩行を始めます。最初は看護師が付き添います。 ★パンフレットを見ながら、肘～手のリハビリから始めましょう。 排液管が抜けるまでは、手術側の肩は無理に動かさないでください。		
排泄	制限はありません。		尿の管が入り、自然に尿が排泄されます。排便はベッド上で行うので、看護師にお知らせください。	尿の管を抜きます。抜けた後はトイレをご使用ください。		
清潔	入浴マニキュアは除去してください。	お化粧品は除去してください。		タオルで体をふきます。 希望があれば、下半身のシャワーと洗髪が可能です。 	創部のガーゼが外れれば、排液管が入ったままでも全身シャワー浴が可能です。湯船につかるのは、初回の外来時に医師に確認してからにしましょう。	
説明指導	ご案内した時間に4階TOPS待合へお越しください。同意書の確認をします。	痛みや吐き気などがある場合は、我慢せずに看護師に伝えてください。 主治医からご家族に手術経過の説明があります。 		 <ul style="list-style-type: none"> 看護師から再度リハビリの説明があります。 排液管が入ったまま退院となる場合は、排液の捨て方の説明があります。 脇のリンパ節を切除した場合は、リンパ浮腫予防の指導と患肢の注意事項の説明を行います。 	午前中に退院です。ご都合がつかない場合は、看護師にお伝えください。診察券をお返しし、退院の書類を受け取ってから手続きになります。	

済生会横浜市東部病院 乳腺外科 2021年3月5日作成



創部が赤くなる、腫れぼったくなる、38℃以上の熱が出るなどの症状がある場合は、外来にご連絡ください。
排液管を持ち帰る場合は、1日 20mL以下が 3日間以上続くのを目安に、総合外科外来にご連絡ください。